

<GAP Japan アワード 2023> コストコホールセールジャパン(株)が受賞!

GAP を調達基準に位置付けてサステナビリティに配慮した調達を推進

JGAP、ASIAGAP は、食品安全、環境保全、労働安全、人権の尊重、農場管理、畜産においては家畜衛生、アニマルウェルフェアの取り組みからなる農場の認証制度です。小売業界、清涼飲料業界などで支持が広がっており、大阪・関西万博での調達コードにも指定されました。このたび GAP の普及を一層推進し、優良な取り組み事例を共有するため、一般財団法人日本 GAP 協会では「GAP Japan アワード 2023」で優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■アワード受賞者:コストコホールセールジャパン株式会社

世界第 3 位の小売業(Costco Wholesale Corporation として)であるコストコホールセールジャパン(株)は、GAP を必須とするグローバルの調達基準を日本にローカライズし、GAP 認証農産物の調達 100%を目指して取り組みを続け、日本の生産者数で 50%を超えるところまでに到達しました。これは、持続可能性(サステナビリティ)に配慮した商品を調達することが企業の責任であるとして、真摯な取り組みを続けてきた結果です。この取り組みは日本における GAP 認証農場の大幅な増加をもたらすとともに、店頭での販売に加え、広報活動を通じ、多数の消費者に対し GAP が持続可能性に資するものであることを浸透させることにもつながっています。このことが GAP Japan アワードに相応しいと高く評価されました。

【ポイント】

- ・ 2016 年より調達基準を GFSI (Global Food Safety Initiative) 承認の GAP 認証制度 (ASIAGAP、GLOBALG.A.P. など) および JGAP と設定
- ・ GAP 未取得の産地への支援・・・①入門プログラムを使った講習会の開催と自己採点シートによる認証取得支援活動の実施、②JGAP 青果物を活用した第三者機関による実地調査を行い、認証取得に向けた GAP へのアプローチ手段を策定
- ・ 消費者を含む市民に向けての広報活動では、グローバルのウェブサイト(英語)において、サステナビリティへのコミットメントを表明するとともに、国内会員誌(30 万部)では GAP とサステナビリティの関係の開設や認証農場を紹介
- ・ GAP 取得率(2023 年 8 月、生産者数ベース):52%(取引品目にして 76 品目)

GAP Japan アワードは、一般財団法人日本 GAP 協会が主催する、最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。選考委員は次の通りです(五十音順、敬称略)。

門田 隆司(不二製油グループ本社 取締役 兼 上席執行役員 最高技術責任者/大阪・関西万博 持続可能な調達ワーキンググループ委員)

田口 光弘(農研機構 みどり戦略・スマート農業推進室 兼 農業経営戦略部営農支援ユニット 上級研究員)

針原 寿朗(住友商事(株) 顧問/元農林水産省 農林水産審議官)

同時に「徳島県農林水産部畜産振興課」も GAP Japan アワードを受賞しました。2 受賞事例について、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場下さい。

■シンポジウム「GAP Japan 2023」

開催日:2023 年 11 月 10 日(金) 13:00~ ※終了後に同会場(階下)で懇親会を開催

場 所:有明セントラルタワーA(東京都江東区有明 3-7-18)および Zoom ウェビナー

<https://jgap.jp/gapjapan2023/index.html> ※報道関係者は無料ご招待(添付参照)

問合せ先:荻野(おぎの) TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 Email info@jgap.jp